

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立大阪城音楽堂
施設所管課・担当	教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習担当
条例上の設置目的	市民の情操教育及びレクリエーション運動の普及向上を図るため、音楽の演奏その他行事を行うことを目的とする。
業務の概要	大阪城音楽堂の管理運営業務 大阪城音楽堂の利用案内・受付、要望・苦情対応、音楽堂内施設管理、関係機関等との各種連絡調整など、音楽堂の貸出に関する業務等を実施
成果指標	年間利用件数・満足度(「満足」・「やや満足」との合計)
数値目標	年間利用件数100件以上、満足度85%以上
指定管理者名	大阪城パークマネジメント共同事業体 構成員：大阪城パークマネジメント株式会社 株式会社電通 関西支社 讀賣テレビ放送株式会社 大和ハウス工業株式会社 大阪本店 大和リース株式会社 株式会社NTTファシリティーズ
指定期間	平成27年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用件数	満足度
数値目標	100件	85.0%
年度実績	122件	96.0%
達成率	122.0%	112.9%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	112,308人	117,468人	△ 5,160人
利用件数	122件	114件	8件
稼働率	53.5%	51.1%	2.4%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	46,073,329	48,791,138	-8,706,671	利用が想定より少なかったため。
	計画	54,780,000	54,700,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	5,198,182	5,324,546	228,182	大阪城音楽堂フェスティバル(協賛金・入場料)収入の増加
	計画	4,970,000	5,200,000		
営業外収益	実績	20,975	2,077		雑収入・補助金助成金
	計画	—	—		
合計	実績	51,292,486	54,117,761	-8,457,514	
	計画	59,750,000	59,900,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
人件費	実績	23,446,843	23,028,280	-3,637,157	期中にスタッフ5名体制から3人体制へ変更したため
	計画	27,084,000	19,338,000		
物件費	実績	38,530,796	49,292,841	1,450,796	期中に業務委託スタッフ1名追加したため 老朽化に伴い内装工事箇所が当初見込みより増加したため
	計画	37,080,000	54,485,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	6,993,830	7,106,064	23,830	大阪城音楽堂フェスティバル
	計画	6,970,000	7,200,000		
営業外費用	実績	3,994	4,825	3,994	共通費用
	計画	—	—		
合計	実績	68,975,463	79,432,010	-2,158,537	
	計画	71,134,000	81,023,000		

令和7年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
年間利用件数(100件)	122.0%	A	目標達成できている。
満足度(85%)	112.9%	A	目標達成できている。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
屋外施設につき施設・設備の劣化が進みやすい特性に加え、築40年を超え老朽化が進んでいるが、優先度を勘案し計画的に改修を行う等の経費削減を行った。また一方では、空き施設の貸出などの増収策を推し進めた。	B	収入では、気象条件や大口の主催者側の突発的な事情によるキャンセルなどの要因により計画額に届かなかったものの、支出では経費削減に取り組んだ結果、実績額は計画より縮減した。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
・		
施設の管理運営	B	・老朽施設であるが、施設・設備の点検整備を計画的に実施することでトラブルを未然防止し、施設の安定稼働に貢献した。 ・屋外施設の特性上、熱中症対策には特に注力し、小ホールを休憩所として開放する等、臨機応変に対応した。
事業計画の実施状況	A	・自主事業である「大阪城音楽堂フェスティバル」では、豊臣石垣館の完成をステージで報告したり、前日に市民の森のエキストラステージで地元中学校や市民楽団の演奏を実施するなど、音楽堂単体のイベントにとどまらないように工夫した。 ・音楽堂本体以外にリハーサル室を和太鼓の練習に貸し出すなど空き施設の有効利用に積極的に取り組んだ結果、稼働率は53.5%と前年度より2.4%上昇した。 ・音量測定など近隣の音環境への配慮を的確に実施し、苦情件数はゼロであった。
施設の有効利用	B	たそがれコンサート等の市民参加型の事業を実施した。また、野外音楽堂としてのポテンシャルを生かした運営を検討するため、服部緑地野外音楽堂などの類似施設の運営事業者と情報交換を実施した。
社会的責任・市の施策との整合性	B	職員への人権研修では振り返りと職場課題への気づきや業務でどう生かすかを書き出し実践した。

5 利用者ニーズ・満足度等

大阪城音楽堂利用者（イベント主催者等）への満足度調査（令和7年6月6日（金）～9月28日（日）実施） 満足度（満足、やや満足） 96.0% アンケート意見を踏まえ楽屋やリハーサル室の全面改修、Wi-Fi機器の更新などを実施し、その後に徴取したアンケートで改善結果が評価されるという好循環となっている。
--

6 外部専門家意見

・自主イベントでは、音楽堂本体だけでなく園地を面的に活用し、大阪城公園全体の活性化につなげていることは評価できる。 ・屋外施設につき天候の影響が大きく、特に近年は酷暑が続いていることから、天候等に起因したキャンセル等については要因を分析する等、予め想定した事業運営に努めてほしい。 ・赤字施設ではあるが、収支改善の努力により営業損益の赤字を昨年度より削減できたことは評価できる。 ・利用件数の目標値の設定にあたっては、過去のデータの傾向を把握しながら改善するようにしてほしい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	目標は達成できている。
市費の縮減		B	収支は赤字であるが、音楽堂本体だけでなく空き施設を貸し出すなど増収策にも積極的に取り組み、営業損益では赤字額を削減したことを評価する。今後も更なる収入の確保に努められたい。
管理運営の履行状況		B +	概ね事業計画に沿った事業実施が行われている。また、施設の管理運営状況についても、本市が求める水準に従って維持管理できていた。また、施設の利用件数や稼働率向上に向けた取組を積極的に行っており、これらの成果が収支改善につながることを期待する。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営			
事業計画の実施状況			
施設の有効利用			
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	